



☆ AWC事務局便り 7月号 ☆

チェンライの少年たち

「おたがいさまプロジェクト」で支援を続けている少年たちの近況をお知らせします。

2018年2月より開始したこのプロジェクトは、チェンライに住む国籍が無い山地民の子どもや、家庭の問題で家に居場所がない子どもの支援を行っています。

帰る家のない子どもたちのためのシェルターは、前から計画していた古着屋をオープンさせると共にその古着屋で生活をするようになったため、バーンマイ地区からサイムーン地区（町からは遠ざかった）へ引越しをしました。また、新しく3人の男の子が入寮しました。3人ともこの春からノンフォーマルエデュケーションの中学過程を始めた15歳～16歳のアカ族の少年です。タイ国籍はありません。

古着はfacebookを通じて寄付を募ったり他団体の寄付を分けてもらったりしています。店の売上げの10%はこのプロジェクトの責任者であるノンフォーマルエデュケーションのギー先生が受け取り、光熱費等を賄っています。まだオープンしたての店なので売上げは、5人の食費で消えているのが現状ですが、ゆくゆくは住居費も受け取り、本格的な自立ができるようにしていきたいとギー先生は考えているそうです。

最近、この5人の少年たちをギー先生の仕事（農業関連のワークショップ）に助手として同行させています。

農業の知識を身につけるだけでなく、多くの人と出会い、学んで欲しいと考えています。



オープンした古着屋の店内

シンポジウムの開催

先月号でもお知らせしましたが、8月4日にシンポジウムを開催いたします。

SNSで出会ったおとなから子どもへの性暴力の問題をテーマに、なぜこのような問題が起きるのか、社会問題の根底にあるリスクについて考えたいと思います。子どもたちが出会いを求めた先にある性暴力被害に対し、日本社会は「自己責任」や「不良少女/少年」と決めつけ、被害者を切り捨てる風潮があります。子どもたちを守るために、何をしたらいいのか皆様と考えたいと思います。

性暴力とSNSーネット社会を生きる子どもを守るー

日時：8月4日(土) 13:00～15:00

開場：かながわ県民センター301号室

参加費：無料（予約優先）

講師：仁藤夢乃・宮崎豊久

コーディネーター：マリ クリスティーヌ

獅子舞がタイに出発します

7月25～8月1日、宮城県女川町の熊野神社氏子の獅子舞の方々と一緒にタイに行きます。女川町では昔からお正月やお祭りの時に獅子舞が各家庭を回り厄払いをする習慣があります。この伝統は大人から子どもへと受け継がれており、東日本大震災で被災したときにもまちの復興に大きな力を発揮しました。タイでは、山に暮らす若者たちの間で伝統文化継承への気持ちが薄れつつある状況が続いています。

伝統文化の継承の大切さを伝える事業として今回は中学生3人、高校生一人を含む総勢7人のメンバーが山の村やAIDS孤児院などで獅子舞の演舞を行い、日本の伝統芸能を多くの方々に見て頂く予定です。9月のグローバルフェスタなどでは、報告会も開催予定です。

